

社会福祉法人 博愛会 デイサービスセンター ルーエハイム



仲秋の候、皆様いかがお過ごしでしょうか。秋も深まり、朝、夕は寒さを覚えるほどの気候となりました。この「デイ通信 あゆみ」をご覧いただく頃は、衣替えのための衣類の整理にお忙しいかもわかりませんね。今月号もご利用者様の元気な様子をお届け致します。どうぞご一読ください。

❀ 今月の手作りおやつは < ジャガイモみたらし > を作っていただきました ❀



皮をむき、茹でたジャガイモを潰して片栗粉を少しずつ加えます。団子状に手でこねたら、湯の中に入れ、タレをかけたら完成です。「美味しいなあ〜😊」「俺が心を込めて作ったんやぞ〜」「店が出せるなあ♡」と好評でした。

*** 毎月10日はトモの日! ***

9月は「秋の味覚御膳」でした

旬の食材は、新鮮で栄養分豊富!

季節の食材を食べて四季を感じていただきました

- ☆ さつま芋ご飯
- ☆ 秋刀魚の竜田揚げ〜おろしポン酢〜
- ☆ ほうれん草の胡桃(くるみ)和え
- ☆ 厚揚げキノコあんかけ
- ☆ とろろ汁



おやつ
南瓜ババロア



❀ 管理栄養士 ❀

サービス利用・デイ通信へのお問い合わせは

〒510-0266 鈴鹿市長法寺町字権現 763

Tel 059-372-3811(代) fax 059-372-3814

E-mail ruheheim@circus.ocn.ne.jp

ホームページ <http://www.ruheheim.com>



※ ホームページ スタッフログの“ルーエハイム通い”では、デイサービスセンターの行事等を紹介しています。



🌸 ボランティアさんが来て下さいました 🌸

鈴鹿シルバー人材センター

童謡歌の会の皆様



ボランティア サークル「あいうえお」の皆様



鈴鹿フルートアンサンブル(sfe)の皆様による 「敬老の日 お祝いコンサート」



♪ デイサービスセンターでは **音楽療法** を行なっています (週 1 回隔週の水・金曜日) ♪

♪ 「赤とんぼ」 ♪

例年よりも早く涼風が吹きはじめた9月、秋の月です。

この日のデイサービスでは、「赤とんぼ」(大正10年 三木露風 作詞/昭和2年 山田耕筰 作曲)をしつとりと歌いました。「赤とんぼ」は最もなつかしい“日本人の心の歌”として今も歌われている童謡です。この曲の歌詞や曲には、多くの日本人が郷愁を感じる美しさがあるのです。3番の歌詞にでてくる「姐や(ねえや)」は、幼くして実の母親と生き別れた、三木露風の家で雇われていた子守娘のことですが、その「姐やの背に負われて見た赤とんぼ」は、生まれ育った故郷の風景や思い出そのものなのでしょう。そして、デイサービスの皆様にとっての共通の思い出は、2番の歌詞にある「桑の実」です。

歌詞を見るや否や『桑の実、よお食べたなあ』『おいしかったなあ』『口の周りが黒くなる』『ポケットの中にいっぱい入れるもんで、真っ黒になってよお怒られた』『赤いうちはちょっと酸っぱい、黒くなってくると甘い』
..皆様口々に語られ、うなずかれています。色や味、嬉々として実を摘み、ほおぼる自分や母の姿、その時の心情...、皆様が五感で覚えてみえる子供時代の風景が目の前にリアルに描かれ、真実として感じられたひと時でした。



by 音楽療法士 藤岡 厚子 ♠